

Nuffield Japan 役員一覧

 <p>代表理事 前田茂雄 Maeda Shigeo</p> <hr/> <p>前田農産食品(株) (北海道本別町) 代表取締役</p>	<p>北海道出身。東京農業大学卒業後、アメリカの大学にて大規模農業経営と流通を学ぶ。帰国後、実家の前田農産食品株式会社に就農し、農閑期＝付加価値創造期間として活かす付加価値型経営を目指す。十勝ベーカーキャンプ、新麦コレクション、農経取獲感謝祭などに企画し「農業のファンづくり」で農業サポーター作りに励む。現在は代表取締役として、お客様と共に育つワクワク感動農業を実践中。日本がこれから向き合う「世界の農業」の実情を知るため、2016年3月、日本人として初めてナフィールドにゲストとして参加。一般社団法人ナフィールドジャパン代表理事就任。一般社団法人食農連携機構理事も務める。</p>
 <p>理事 浅井雄一郎 Asai Yuichiro</p> <hr/> <p>(株)浅井農園(三重県津市) 代表取締役CEO</p>	<p>三重県出身。コンサルティング会社等を経て、家業(花木生産)を継承し、第二創業として2008年よりミニトマトの生産を開始。「常に現場を科学する研究開発型の農業カンパニー」をスローガンとして、品種開発～生産技術～流通開発まで独自の農業バリューチェーンを構築しながら生産規模拡大に取り組み。近年は、施設園芸と果樹の複合経営に挑戦し、キウイフルーツ等の農地集積による大規模園地開発に取り組み。農業経営の傍ら、三重大学大学院においてトマトのゲノム育種研究に取り組み、博士号を取得。2018年3月、オランダで開催されたCSCにゲスト参加。一般社団法人ナフィールドジャパン理事就任。</p>
 <p>理事 藤田葵 Fujita Aoi</p> <hr/>	<p>東京大学文学部、同大学院総合文化研究科修士課程修了。大学・大学院にて日露・日ソ関係史を専攻後、日系コンサルティング会社に9年勤務。各業界での調査・アドバイザー経験の中で日本の農業の立ち遅れとその活性化の必要性を感じ、2016年に農業ベンチャー・株式会社ファームシップに転職。植物工場を中心とした事業開発に取り組み他、農業関係人材育成事業にも関与し、小規模工場の工場長の経験も持つ。農業分野の次世代リーダーの育成の必要性を感じ、2019年3月、ナフィールドにゲストとして参加。一般社団法人ナフィールドジャパン理事就任。その他、翻訳・通訳(英語・ロシア語)、陸上自衛隊予備自衛官でもある。</p>
 <p>理事 奈良迫洋介 Narasako Yosuke</p> <hr/> <p>(株)くしまアオイファーム (宮崎県串間市) 代表取締役</p>	<p>鹿児島県出身。高校卒業後、美容師見習いを経てニュージーランドへ。帰国後、鹿児島大学に入学。同大学卒業後、インドの現地企業に入社。東京の貿易商社に転職し、経営管理および食品の輸出業務に従事。他部門への異動内示をきっかけに「さつまいも愛」から台湾で見つけた株式会社くしまアオイファームへの転職を決意。営業や海外駐在を経て、財務責任者として資金調達や金融機関との渉外業務を担当。現在は取締役副社長として、会社のさらなる成長のために奮闘中。世界における日本の農業のプレゼンスを高めたいと、2019年3月、ナフィールドにゲストとして参加。一般社団法人ナフィールドジャパン理事就任。</p>
 <p>理事 ANDREW FOWLER</p> <hr/> <p>Nuffield International Chairman</p>	<p>Andrew was elected to the Nuffield Australia Board in 2011 and was appointed Chair of the Board in September 2016. He was elected as Nuffield International Chair in March 2020. Andrew and his wife Marie farm with his family outside Esperance on the south-east coast of Western Australia. The business produces canola, barley, wheat, lamb, wool and beef. Andrew is currently focusing on the synergies between the livestock and the crops, grazing all the crops and ensuring good sub-clover pasture regeneration. Andrew was awarded life membership of the South East Premium Wheat Growers Association (SEPWA) and is also a member of the GRDC's local Regional Cropping Solutions Network. He travelled on his Nuffield Scholarship in 2000.</p>
 <p>理事 JODIE REDCLIFFE</p> <hr/> <p>Nuffield International Interim CEO</p>	<p>Jodie has been CEO of Nuffield Australia since March 2019, and Interim CEO of Nuffield International since 1-April 2020. Prior to this, Jodie held numerous positions within the chicken industry, most recently as the President of the Australian Chicken Grower Council. Jodie was also President and Executive Officer for Queensland Chicken Growers Association and sat on the Australian Chicken Meat Federation, the industry's peak body. Jodie and her husband Wayne operated a commercial broiler farm for 27 years. In 2017, they sold their farm, and purchased their dream property in Northern NSW, with an Angus breeder operation and agritourism venture. Jodie is a 2013 Scholar whose report was titled "Something to Crow About: What can poultry farmers do to answer consumer perceptions and pressures facing our industry?". Jodie has been heavily involved with Nuffield as Queensland State Chair, a member of the Programs Committee and foundation host of the Japan leg of the GFP. This role is a real passion of Jodie's, marrying her ability to speak Japanese with her interest in continuous agricultural learning</p>
 <p>監事 原田佑嗣 Harada Yuji</p> <hr/> <p>御所南税理士法人(京都府京都市) 代表社員／公認会計士・税理士</p>	<p>1981年京都市生まれ。会計士試験合格後、監査法人トーマツに入社。農業を手掛ける企業の監査に従事する中で農業に興味を持ち、2013年に京都市で会計事務所を開業。2015年には新規就農者のための離農者支援をするための会社(株)就農・離農コンサルティング)を設立した。生産者と一緒に仕事をしたい強い思いが強く、各都道府県の農業経営塾で会計や税務に関する講師を務めながら、多数の農家・農業法人の顧問先に会計・税務サービスを展開している。2020年には税務部門の全国展開を目指し、御所南税理士法人を設立し、今に至る。</p>
 <p>アドバイザー 澤浦彰治 Sawaura Shoji</p> <hr/> <p>グリーンリーフ(株)／(株)野菜くらぶ 代表取締役</p>	<p>1964年群馬県利根郡昭和村生まれ。1983年県立利根農林高等学校を卒業。1984年群馬県畜産試験場研修課程終了。1992年野菜くらぶを3人の仲間と創業。1994年グリーンリーフ有限会社設立代表取締役になる。1996年有限会社野菜くらぶ設立代表取締役に就任。2000年新規就農者を育てる独立支援プログラムを開始。2001年青森県に有限会社サニタスガーデンを新規就農者山田広治氏と設立。2002年有限会社野菜くらぶを株式会社野菜くらぶへ組織変更、代表取締役となる。2005年有機ほうれん草と有機小松菜を生産する(株)四季菜を設立する。2006年(株)モスフードサービスと出資して株式会社サングレイスを静岡に設立。代表取締役会長となる。2010年内閣府主催の「規制・制度改革委員会、農業ワーキンググループ」委員となり提言に関わる。2020年政府の規制改革推進会議農業ワーキンググループの専門員就任。</p>
 <p>アドバイザー 久松達央 Hisamatsu Tatsuo</p> <hr/> <p>(株)久松農園 代表取締役</p>	<p>株式会社久松農園代表。1970年茨城県生まれ。1994年慶応義塾大学経済学部卒業後、帝人株式会社を経て、1998年に茨城県土浦市で脱サラ就農。年間100種類以上の野菜を有機栽培し、個人消費者や飲食店に直接販売している。補助金や大組織に頼らずに自分の足で立つ「小さくて強い農業」を模索している。他農場の経営サポートや自治体と連携した人材育成も行っている。著書に「キレイゴトぬきの農業論」(新潮新書)、『小さくて強い農業をつくる』(晶文社)</p>
 <p>アドバイザー 及川智正 Oikawa Tomomasa</p> <hr/> <p>(株)農業総合研究所 代表取締役CEO</p>	<p>1975年東京生まれ。1997年東京農業大学農学部農業経済学卒業。学生時代から農業への危機感を覚え、会社員を6年間経験後、農業界へ転身。自分で農業を3年、八百屋を1年実践し、その経験を活かし、2007年に現金50万円で農業総合研究所を設立。起業後12年で取扱高100億円を達成。多数のメディア出演や講演活動、農林水産省の委員、大学の講師も務める。農業界の急成長企業、そして、農業ベンチャー初の上場企業として全国から注目を浴びている。「A-1グランプリ」特別賞受賞、和歌山県ソムリエ企業 激励賞 認定企業受賞、Entrepreneur Of The Year 2013 Japan ファイナリスト受賞、フードアクションニッポンアワード2014 優秀賞受賞、Japan Venture Awards 2016 経済産業大臣賞受賞、一般社団法人東京ニュービジネス協議会 第11回IPO大賞 ルーキー部門受賞、はばたく中小企業・小規模事業者300社 需要獲得部門受賞など、他多数。</p>